

「小児膜性腎症における自己抗体の関与について」へのご協力をお願い

神奈川県立こども医療センター腎臓内科では「膜性腎症」の患者さんを対象に「自己抗体の陽性率」についての研究を実施しています。この研究は本邦の小児膜性腎症の診療に役に立つと考えております。

研究課題名	小児膜性腎症における自己抗体の関与について
研究の対象	2018年から2026年に当院で膜性腎症のため入院や通院されていた小児膜性腎症の方
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	神奈川県立こども医療センターに入院中、または通院中の膜性腎症の方に対し、抗PLA2R抗体や抗THSD7A抗体の陽性率を調べます。それにより小児特発性膜性腎症において両抗体の検査が有用であるかを評価することを目的とします。抗体検査時は、通常の採血に2mlを追加します。
研究期間	2022年3月から2027年12月まで
研究に使用する試料・情報の種類	試料：尿検体、血液検体、腎生検検体 情報：年齢、性別、既往歴、家族歴、アレルギー歴、薬剤歴、受診理由、尿や血液の検査データ、腎生検結果、治療内容など
研究実施機関（研究組織）	神奈川県立こども医療センター 腎臓内科 松村壮史
外部への試料・情報の提供とその方法	外部への情報提供はありません。 抗体検査については委託している民間検査機関に依頼しますが、個人情報が出ないように依頼します。 抗体検査に関して患者さんの費用の負担はありません。
情報の管理について責任を有する者・所属	腎臓内科 松村壮史

本研究はヘルシンキ宣言（2013年10月WMAフォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2021年6月30日施行）に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用するため、個人情報が出漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。

また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。

利益相反について

開示すべき利益相反はありません。

本研究の対象となる患者さんでご自身やお子さんの情報は利用しないしてほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。研究データからお子さんの情報を削除いたします（又は情報は提供いたしません）。その場合も診療において不利益を被ることはございません。

尚、公表後は情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口はこども医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先 研究責任者 腎臓内科  
松村 壮史

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構  
神奈川県立こども医療センター  
総務課 倫理委員会事務局

Tel : 045-711-2351 内線 2212